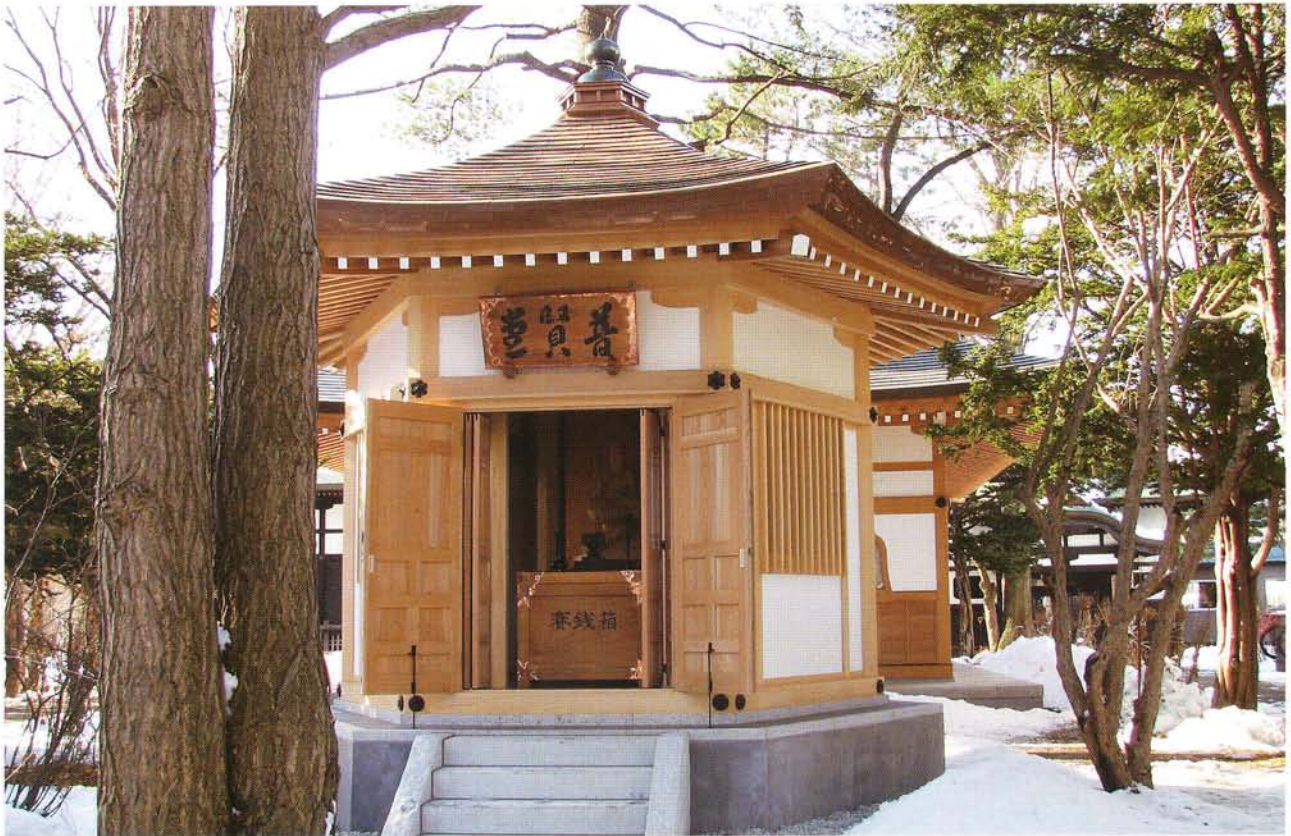


瑞龍寺 花園会だより

第11号

(平成28年1月発行)

発行 大圓山 瑞龍寺花園会
 〒064-0802 札幌市中央区南2条西21丁目1-8
 電話(011)611-3228/FAX(011)613-8458
 編集責任者 花園会会長 長尾 章郎



開山礼拝堂「普賢堂」

年頭の挨拶

住職 皆川 彰久

檀信徒の皆様、慶春の新年をつつがなく迎えたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年の十一月二十三日、開山礼拝堂落慶式があり、御堂の本尊様の普賢菩薩点眼法要を執り行いました。これで当山も百年ぶりに禅宗様式釈迦三尊仏が安置されたわけです。仏教を開闢したお釈迦様は本堂に祀られております。それは「修行」と「知恵」の精進の結果として二千五百年前より現在に至るまで日々生きかえって、わたしたちを生かしております。その釈尊の「智慧」の分身が文殊菩薩です。当山の坐禅堂に配置されております。「修行」の分身が普賢菩薩で新しい御堂に安置されました。これらの仏様は皆様の身代りとなって働いています。今お寺の役割が増々必要とされています。これからはお寺参りの機会をつくっていただき、合掌とお祈りをしていただければと願っております。

今年も当山では、様々な年中行事があります。まずはお寺の門をくぐってこそ、「仏の力」が得られ、新しく生きかえる始まりが成り立ちます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

瑞龍寺の仏様(釈迦三尊)



普賢菩薩



文殊菩薩



釈迦如来

開山礼拝堂普賢菩薩点眼法要 開山盤龍禪師 毎歳忌の報告 三世祖臨昭禪師二十三回忌法要

十一月二十三日を表記の三つの法要が執り行われ、これに先だつて二十二日には「宿忌」(法要前夜の供養)が起龍軒老大師の導師の基におこなわれました。二十三日は、富山県国泰寺の管長 現下虚室老大師と松島瑞巖寺の起雲軒老大師をはじめ、道外から二十一のお寺のご住職と、道内二十三ヶ寺二十八名のご住職・和尚様が出頭随喜されて、まず、起雲軒老大師が導師を勤められて、瑞龍寺に新しくお迎えし開山礼拝堂にお祀りする普賢菩薩様の点眼法要が行われ、続いて起龍軒老大師の基に、開山松原盤龍禪師の毎歳忌、そして三世中川祖臨昭禪師の二十三回忌法要が、中川老師のご子息・縁者・檀信徒・禅道会など約五十名が参列されて盛会のうちに無事円上致しました。

大法要円成御礼

住職 皆川 彰久

今回は平成二十一年九月北海道場開創百年祭以来の大法要でした。この一年間、記念事業を中心企画として、北海道教区全寺院、当山役員檀信徒の打合せ協力、手伝いのもと無事終了致しました。厚く御礼申し上げます。開創以来百年にわたり当山が護持できたのも歴代の住職ばかりでなく、役員檀信徒の「志」、各々寺院の有形無形の支援があつたればこそ現在と後世につないでゆくことができます。今回の法要も様々な人々のご縁のお蔭様だと深慮しております。こうしたことで「報恩謝徳」の大法要でもありました。「開山礼拝堂」を建てたことはご縁にかかわつた人々の得を讃えるためでもありました。これまでの本堂、瑞雲軒書院、坐禅堂とともにすべて総木で輪喚の荘厳美を競っております。これからも「志の寺」として檀信徒皆様の参拝を気楽に来ていただけるよう祈願しております。



戦後七〇周年平和祈念法要 「平和・復興へのいのり」に参加して

森 隆明

昨年十一月二十五日、名古屋市覚王山 日泰寺で行われた標記の法要に、中川正人評議員と一緒に参加してまいりました。前日の二四日には不意の降雪に見舞われ、新千歳空港は滑走路の除雪に手間取り離着陸が大幅に遅れ予定の便が離陸できなかった。二時間半以上たつてからでした。

道内花園会1〜3部の計七名での参加予定がこの雪のため厚岸と別海のお二人が新千歳空港に到着することができず、鷹栖町田中寺船場住職を先導に五名での出発となりました。幸いこの日は移動だけの日程でしたので影響がなくて幸いでした。

二十五日は午前十時から名古屋市内にある覚王山日泰寺で法要が開始されました。このお寺は超宗派の寺院で、タイ王国から寄贈された仏舍利（釈迦の遺骨で境内からやや離れた「泰安塔」の中に安置されている）を安置するために創建され、「覚王」とは釈迦の別名で、「日泰」とは日本とタイ王国を表します。どの宗派にも属していない日

本では唯一の超宗派の寺院で、各宗派（現在十九宗派が参加）の管長が、三年交代で住職を務めることになっており、現在の管長は妙心寺の嶺管長下です。今回は、妙心寺派の集まりで七〇〇人を超す大法要となりました。般若心経、本尊回向、白隠禅師坐禅和讃、平和祈念回向嶺 興嶽管長下のご挨拶と滞りなく法要が営まれました。

その後専用バスで東急ホテルに移動し、大宴会場（ベエルサイユの間）で昼食、ピースあいち所属の吉田理さんの「平和講演」、バイオリン波馬朝加さん、ピアノ金澤 みなつさんの「平和祈念音楽会」と続きました。

「平和講演」で八十四歳の吉田さんが一九四十五年当時、名古屋市内昭和区鶴舞公園近くに住んでいて、三月一九日の名古屋大空襲に遭遇した体験を語りました。

空襲の数日後、それまで思いも寄らなかつた「疎開」という言葉を両親に懇請するようになったきっかけが、黒く焦げただれた屍の累々たる山だったと

いうことです。迫り来る戦争の悲惨さに少年の心に恐怖はしつかり焼き付いてしまったのでした。戦後、種々の調査をして気が付かれたそうですが、例えばゼロ戦が機体を軽くするため、操縦士の後部防御をなくしたりといった先進国では考えられないような人命軽視も甚だしい考えに基づく装備によつて、やつとやつとの戦いをしていたことが分かつたそうです。

淡々と語られる吉田さんの締めくくりは、二度とこのような悲惨なことは起こしてはならないということ、また、いづどんな災害がやつて来るか分からないというところに、つねに想いを馳せなければいけないということでした。

帰路はうって変わって、順風満帆追い風に乗って十五分も早い飛行で新千歳空港に着きました。



日泰寺



日泰寺・法要会場

平成28年度 瑞龍寺行事予定

開催日		行事の内容
4月7日	(木)	花祭り法要・法話
5月8日	(日)	梅祭り
8月21日	(日)	お盆・施餓鬼法要
8月28日	(日)	栽松塔法要
9月25日	(日)	秋の彼岸法要
10月下旬		秋季特別布教
11月23日	(水)	開山忌法要
H29.1月8日	(日)	大般若法要
3月19日	(日)	春の彼岸法要

平成28年 回忌表

一周忌	平成27年
三回忌	平成26年
七回忌	平成22年
十三回忌	平成16年
二十三回忌	平成6年
二十七回忌	平成2年
三十三回忌	昭和59年
五十回忌	昭和42年

おかげさま献金 (復興見舞金)

有難うございました。

中原 麻美子 様
 白旗 ミヨ 様
 嘉藤田 静枝 様

編集後記

礼拝堂として普賢菩薩を祀る「普賢堂」が建立されました。瑞龍寺の祈りの場としての本堂のほかに禅堂に続いて礼拝堂が完成したことにより、本堂の釈迦如来、禅堂の文殊菩薩に加えて釈迦三尊仏が全て揃ったことになりました。檀信徒だけでなく、地域の方々にも気楽に合掌して祈る場所として発展していくこ

とを期待します。

責任役員をされていた西清延さんが昨年三月に亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします。また評議員の安藤和昌さんが離道のため退任され、新たに高木孝之さんと佐藤繁治さんに評議員となつて頂くことになりました。

本年もどうぞ宜しく願います。

花園会だより 編集委員

新しく評議員に成られた方



高木 孝之



佐藤 繁治

